

1.	③	11.	③	21.	②	31.	②	41.	④
2.	③	12.	③	22.	④	32.	③	42.	③
3.	①	13.	④	23.	④	33.	①	43.	①
4.	①	14.	④	24.	①	34.	②	44.	②
5.	①	15.	②	25.	③	35.	①	45.	④
6.	③	16.	①	26.	④	36.	③	46.	③
7.	①	17.	②	27.	④	37.	①	47.	④
8.	③	18.	③	28.	④	38.	③	48.	④
9.	③	19.	③	29.	①	39.	②	49.	③
10.	①	20.	②	30.	④	40.	③	50.	①

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「着陸する」です。**land** は、名詞として「土地、陸」という意味が基本ですが、動詞としては、飛行機や鳥などが空から地面に「着陸する、降り立つ」という意味で使われます。例文は「その飛行機は着陸の準備をしている」となります。①「出発する」は **depart**、②「搭乗する」は **board**、④「到着する」は **arrive** です。

◆補足：land は「(職や契約などを) 手に入れる」という比喩的な意味で使われることもあります。

例：He landed a great job. (彼は素晴らしい仕事を手に入れた)。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③as soon as です。この接続詞は「～するとすぐに、～するやいなや」という意味で、ある動作が終わるとすぐにもう一つの動作が起こることを示します。I'll call you as soon as I arrive. (到着したらすぐに電話します)。①as long as は「～する限りは」、②as far as は「～する範囲では」、④as well as は「～だけでなく…も」という意味です。

◆補足：as soon as は時を表す副詞節を導くため、節内の動詞は未来のことでも現在形を使うのが原則です(例：as soon as he arrives であり、he will arrive とはしない)。これは if や when と同じルールなので、合わせて覚えておきましょう。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「要求があり次第」です。on demand は、消費者や利用者の「要求、需要があり次第」いつでもサービスや商品が提供されることを意味します。video-on-demand services（ビデオオンデマンドサービス）がその代表例です。②「勤務中で」は on duty、③「故意に」は on purpose、④「考え直して」は on second thought です。

◆補足：demand は名詞として「要求、需要」を意味します。その要求（demand）に応じて（on）提供される、というイメージです。on a ~ basis（～を基準として）という形を応用し、on a demand basis と考えることもできます。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を思いついた」です。句動詞 hit on ~ は、良い考えや解決策などを「偶然思いつく、ふと思いつく」という意味で使われます。この例文は「シャワーを浴びているときに、私はレポートのための素晴らしいアイデアを思いついた」という意味になり、文脈に完全に一致します。②「～に言い寄った」、③「～を強く打った」、④「～に偶然出会った」は、この文脈では意味が通じません。

◆補足：hit on ~ には、口語で「(異性などに) 言い寄る、口説く」という全く異なる意味もあります。多義的な句動詞なので、文脈で意味を判断することが重要です。また、「～を思いつく」という類義語に come up with ~ がありますが、hit on ~ の方がより「偶然ひらめく」というニュアンスが強いです。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①ingredient です。この単語は、料理や混合物を作るために使われる「材料、成分」を指します。What are the ingredients of this cake? (このケーキの材料は何ですか?)。②instrument は「器具、楽器」、③inheritance は「相続財産、遺伝」、④incident は「出来事、事件」という意味です。

◆補足：ingredient は、比喩的に成功などの「要素、要因」という意味で使われることもあります。Hard work is an important ingredient for success. (勤勉は成功の重要な要素だ)。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③despite です。この単語は前置詞で、困難や不利な条件が存在するにもかかわらず何かが起こることを示します。despite the rain（雨にもかかわらず）のように、後ろには名詞（句）が続きます。①although は同じく「～にもかかわらず」という意味ですが、後ろに「主語＋動詞」の節が続く接続詞です。②however は「しかしながら」、④therefore は「それゆえに」という意味の副詞です。

◆補足：despite の類義語に in spite of があります。despite a problem と in spite of a problem は同じ意味で、置き換えが可能です。despiteの方がややフォーマルな響きがあります。文法問題では、後ろに名詞が来るか、節が来るかによって despite と although を使い分ける問題が頻出します。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①insert です。この動詞は、何かの中に物を「挿入する、差し込む、書き入れる」ことを意味します。Insert a coin into the slot.（スロットに硬貨を挿入してください）。②inspect は「～を検査する」、③insist は「～を主張する」、④install は「～を設置する」という意味です。

◆補足：insert の名詞形は insertion（挿入）です。install はソフトウェアや機器を「使えるように設定・設置する」というニュアンスなのに対し、insert は単純に「中に差し込む」という物理的な動作を表します。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「課題」です。challenge は、成功するために多大な努力や技術を必要とするような「課題、難題」を意味します。単なる「困難」というネガティブな意味だけでなく、「挑戦しがいのあること」というポジティブなニュアンスで使われることも多いです。①「機会」は opportunity、②「変化」は change、④「選択」は choice がそれぞれ適切です。

◆補足：challenge は動詞としても使われ、「～に異議を唱える、挑戦する」という意味があります。例：challenge the champion（チャンピオンに挑戦する）。名詞の「課題」という意味と動詞の「挑戦する」という意味は密接に関連しており、セットで覚えると効果的です。形容詞形は challenging（やりがいのある、困難だが興味深い）です。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③invention です。この単語は、動詞 invent (～を発明する) の名詞形で、「発明」という行為そのものや、「発明品」を指します。The invention of the telephone changed the world. (電話の発明は世界を変えた)。①invitation は「招待」、②investment は「投資」、④investigation は「調査」という意味です。

◆補足：invention と discovery (発見) の違いを理解することが重要です。discovery は、既に存在していたが知られていなかったものを見つけ出すこと (例：the discovery of America アメリカ大陸の発見) を指します。一方、invention は、それまで全く存在しなかったものを新たに作り出すことを指します。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に遅れずについていく」です。keep up with ~は、人や物事の進歩や変化のペースに合わせて「遅れずについていく、時代に乗り遅れない」という意味を表します。It's hard to keep up with the latest technology. (最新の技術に遅れずについていくのは大変だ)。②「～と連絡を取り続ける」は keep in touch with ~、③「～を我慢する」は put up with ~、④「～に近づかない」は keep away from ~です。

◆補足：keep up with ~には、友人やニュースなどについて「(情報) を常に把握しておく」という意味もあります。I read the newspaper every day to keep up with what's happening in the world. (私は世の中で起きていることに遅れないよう、毎日新聞を読みます)。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「場所、位置」です。location は、ある物や人が存在する、あるいは何かが起こる特定の「場所、位置、所在地」を意味します。This is a perfect location for a new park. (ここは新しい公園のための完璧な場所だ)。①「休暇」は vacation、②「運動」は motion や exercise、④「国家」は nation です。

◆補足：location は、映画やテレビの「ロケ地」という意味でも使われます (on location で「ロケで」)。動詞形は locate (～の場所を突き止める、～を設置する) で、be located in/at ~ (～に位置している) という受動態の形で頻出します。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「装備、機材」です。equipment は、特定の活動や目的のために必要となる道具や機械類一式、すなわち「装備、機材、設備」を指す、集合的な不可算名詞です。sports equipment（スポーツ用品）や camping equipment（キャンプ用品）のように使います。①「実験」は experiment、②「環境」は environment、④「要素」は element です。

◆補足：equipment は不可算名詞なので、通常は複数形の-s をつけません。数えるときは a piece of equipment のように表現します。動詞形は equip（～に備え付ける）で、be equipped with ~（～が備わっている）という形でよく使われます。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「段階、措置」です。step は、文字通り足の「一步」を意味しますが、この例文のように、ある目的を達成するための一連の行動の中の「段階、手順、措置」という比喩的な意味で非常によく使われます。例文は「第一段階は情報を集めることです」となります。②「一步」や①「階段」も step の重要な意味ですが、この文脈には合いません。③「足跡」は footprint です。

◆補足：step by step で「一步一步、着実に」という副詞句になります。take steps to do で「～するための措置を講じる」という頻出の表現も重要です。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「手荷物」です。luggage は、旅行の際に持っていくスーツケースやバッグなどの「手荷物」の総称です。集合的な意味を持つため、通常は数えられない不可算名詞として扱われます。a piece of luggage（手荷物一つ）のように数えます。①「ごみ」は garbage や trash、②「小包」は package、③「村」は village です。

◆補足：luggage は主にイギリス英語で使われ、アメリカ英語では baggage がより一般的に使われますが、意味は同じです。どちらも不可算名詞である点が重要です。hand luggage または carry-on luggage で、飛行機内に持ち込む「機内持ち込み手荷物」を意味します。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に夢中になっている」です。be absorbed in ~は、何かに完全に注意を奪われ、「～に没頭している、夢中になっている」状態を表します。He was so absorbed in his work that he didn't notice

me. (彼は仕事に夢中で私に気づかなかった)。①「～に参加している」は **be engaged in** ~、③「～に興味がある」は **be interested in** ~、④「～に関わっている」は **be involved in** ~が適切です。

◆補足：動詞 **absorb** は、スポンジが水を「吸収する」という意味が基本です。そこから、人の心や注意が完全に「吸い込まれてしまう」という比喩的なイメージで「夢中になる」という意味に発展しました。**be lost in** ~も「～に没頭している」という似た意味の表現です。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①**choice** です。この単語は、いくつかの物や人の中から一つを選ぶ行為、またはその権利を指します。**I had no choice but to agree.** (私は同意するしか選択の余地がなかった)。②**voice** は「声」、③**chance** は「機会、可能性」、④**change** は「変化」という意味で、いずれも **choice** と音が似ているので注意が必要です。

◆補足：**choice** の動詞形は **choose** (選ぶ) です。**make a choice** で「選択する」という、動詞 **choose** と同じ意味の表現になります。形容詞としては、**a choice cut of beef** (上等な牛肉) のように「極上の、えり抜きの」という意味で使われることもあります。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②**analysis** です。この単語は、物事をより深く理解するために、その部分や構造を詳細に調べる「分析」を指します。**data analysis** (データ分析) のように使われます。①**analogy** は「類推」、③**anecdote** は「逸話、秘話」、④**anatomy** は「解剖学」という意味で、いずれも学術的な文脈で使われることがある単語ですが、意味は異なります。

◆補足：**analysis** の動詞形は **analyze** (～を分析する) です。複数形は **analyses** と、**-is** が **-es** になる不規則な形なので注意が必要です。語源はギリシャ語の **ana-** (上に、さかのぼって) と **lysis** (分解) で、「さかのぼって分解すること」が元の意味です。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「助手」です。**assistant** は、誰かの仕事を手伝う人、すなわち「助手、アシスタント、補佐役」を意味します。**a shop assistant** (店員) や **a personal assistant** (個人秘書) のように使われます。

①「会計士」は **accountant**、②「応募者」は **applicant**、④「コンサルタント」は **consultant** です。

◆補足：assistant は動詞 assist（～を手伝う、補助する）に、人を表す接尾辞-ant がついた形です。assist は help よりもフォーマルで、専門的な手助けのニュアンスがあります。名詞形の assistance は「援助、支援」を意味し、これも重要語です。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「経歴、経験」です。background は、写真や絵の「背景」という物理的な意味の他に、人の学歴、職歴、育った環境など、その人を形作ってきた「経歴、背景、生い立ち」を指すのによく使われます。例文は「彼女には科学のバックグラウンド（素養）がある」となります。①「背景画」も background の意味ですが、この文脈には合いません。②「運動場」は playground、④「裏庭」は backyard です。

◆補足：background は、事件や問題の「背景、いきさつ」という意味でも重要です。To understand the conflict, you need to know its historical background.（その対立を理解するためには、その歴史的背景を知る必要がある）。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②「観光名所」です。attraction は、人を惹きつける「魅力」という意味の他に、人々が訪れたいと思うような場所やイベント、すなわち「観光名所、呼び物」を意味します。例文は「多くの観光客がこの町の観光名所である城を訪れます」という意味です。①「魅力」も attraction の重要な意味ですが、この文脈ではより具体的な「観光名所」が最適です。③「注意」は attention、④「攻撃」は attack です。

◆補足：attraction の動詞形は attract（～を引きつける、魅了する）です。tourist attraction（観光名所）という複合語は頻出です。また、物理学では「引力」という意味でも使われます（例：magnetic attraction 磁力）。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「一部分、分け前」です。portion は、より大きな全体の中の「一部分、一部」を指します。また、食事の「一人前」や、遺産などの「分け前」といった意味でも使われます。I ate a large portion of the cake.（私はそのケーキの大部分を食べた）。①「毒」は poison、③「肖像画」は portrait、④「位置」は position です。

◆補足：portion は part と似ていますが、portion は全体から分割された「割り当て」というニュアンスが強いです。例えば、レストランで出される食事の「一人前の量」は a portion of food と言います。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④「障害、疾患」です。disorder は、心や体の機能が正常に働かない「(心身の) 不調、障害、疾患」を意味します。この例文は「彼は睡眠障害に苦しんでいる」という意味になります。①「無秩序」も disorder の重要な意味ですが（例：The room was in complete disorder. 部屋は完全に散らかっていた）、この医学的な文脈には合いません。②「不便」は inconvenience、③「不満」は dissatisfaction です。

◆補足：disorder は、接頭辞 dis-（否定）と order（秩序）が組み合わさった単語で、「秩序がない状態」が元の意味です。ここから、社会的な「混乱、騒動」や、心身の機能の「不調」といった意味に発展しました。a mental disorder（精神疾患）や an eating disorder（摂食障害）のように、医学用語としてよく使われます。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④unlike です。この前置詞は、人や物が他のものと「違って、～と異なり」と、対比を強調する際に使われます。Unlike his father, he is not interested in politics.（彼の父親と違って、彼は政治に興味がない）。①besides は「～に加えて」、②without は「～なしで」、③despite は「～にもかかわらず」という意味です。

◆補足：unlike は「似ていない」という形容詞としても使われます。例：They are completely unlike.（彼らは全く似ていない）。like には前置詞「～のような」と動詞「～を好む」がありますが、unlike には動詞としての用法はない点に注意しましょう。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①underway です。この単語は、計画、準備、イベントなどが既に始まっており、現在「進行中である」ことを示します。get underway で「始まる」という意味になります。The construction project is already underway.（その建設プロジェクトは既に進行中だ）。②anyway は「とにかく」、③someday は「いつか」、④meanwhile は「その間に」という意味です。

◆補足：underway は、under と way が組み合わさった言葉で、「道の途中」というイメージから「進行中」という意味になったと考えると分かりやすいでしょう。主に叙述用法（be 動詞の後ろなど）で使われ、名詞を直接修飾することは稀です。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「時代遅れの」です。out of date は、情報、技術、服装などが古くなって、もはや通用しない、あるいは正しくない状態を指します。This map is out of date. (この地図は情報が古い)。①「故障中で」は out of order、②「在庫切れで」は out of stock、④「制御不能で」は out of control です。これらは全て out of ~ の形で使われる重要表現なので、セットで覚えると効果的です。

◆補足：date は「日付」を意味し、out of date で「日付（＝時代）から外れている」というイメージを持つと覚えやすいでしょう。類義語に old-fashioned がありますが、out of date は情報や知識が「最新ではない」という客観的な事実を指すのに対し、old-fashioned はスタイルなどが「古風で流行遅れだ」という主観的な評価を含むことが多いです。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を確信している」です。be positive of ~ は、何かについて全く疑いを持たず、「～を確信している」状態を表します。I am positive of his success. (私は彼の成功を確信している)。①「～に積極的である」は be positive about ~、②「～に満足している」は be satisfied with ~、③「～に気づいている」は be aware of ~ が適切です。

◆補足：be positive that ... の形で、後ろに節を続ける使い方がより一般的です。I am positive that he will succeed. (彼が成功することを確信している)。形容詞 positive は「肯定的な、積極的な」の他に、「確信して」という意味も持つことを覚えておきましょう。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④Global Positioning System です。GPS は、人工衛星からの信号を利用して、地球上の現在位置を測定するシステムの名称です。日本語では「全地球測位システム」と訳されます。他の選択肢は、それらしく作られた架空の名称です。

◆補足：GPS は、今やカーナビゲーションシステム（car navigation system）やスマートフォンには欠かせない技術となっています。GPS receiver（GPS 受信機）が衛星からの電波を受け取り、位置を特定します。略語が何の単語の頭文字から来ているかを知っておくと、単語の理解が深まります。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「完全に」です。completely は、形容詞 complete（完全な）の副詞形で、「完全に、すっかり、全く」という意味を表し、何かを強調する際に使われます。I completely forgot about our appointment.（私は私たちの約束をすっかり忘れていた）。①「ほとんど」は almost、②「おそらく」は probably、③「特に」は especially や particularly が適切な単語です。

◆補足：completely は、しばしば totally, entirely, utterly といった副詞と置き換え可能ですが、completely は最も一般的に使われる単語です。物事が 100%のレベルに達していることを示します。I am completely satisfied with the result.（私はその結果に完全に満足している）。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「仕事、課題」です。task は、人に割り当てられた、あるいは自分でやらなければならない特定の「仕事、任務、課題」を指します。特に、決まった期間内に行うべき作業というニュアンスで使われます。My first task of the day is to check my emails.（私の一日の最初の仕事はメールをチェックすることだ）。②「軌道」は track、③「手品」は trick、④「秘訣」も trick や tip が使われます。

◆補足：task は、job や work と似ていますが、job が「職業」や「(賃金を得るための) 仕事」を指すのに対し、task はより具体的で、個々の「作業」を指します。a difficult task（困難な課題）や complete a task（任務を完了する）といった形でよく使われます。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④altitude です。この単語は、特に航空機が飛行する「高度」や、山の「標高」を指すのに使われます。The airplane is flying at an altitude of 10,000 meters.（その飛行機は高度 1 万メートルを飛行している）。①attitude は「態度」、②latitude は「緯度」、③aptitude は「適性、才能」という意味で、いずれも形が似ているので注意が必要です。

◆補足：altitude はラテン語で「高い」を意味する *altus* に由来します。類義語の *height* も「高さ」ですが、*height* が建物や人の身長など、地面からの物理的な高さを指す一般的な単語なのに対し、*altitude* は海拔などの基準からの高さを指す、より専門的な用語です。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②inability です。この単語は、名詞 *ability*（能力）に否定の接頭辞 *in-* がついた形で、何かをするための力や技術、機会がないこと、すなわち「できないこと、無能、不能」を意味します。his inability to speak French（彼のフランス語を話せないこと）のように使います。①inequality は「不平等」、③inaccuracy は「不正確さ」、④indifference は「無関心」という意味です。

◆補足：inability は、`inability to do` の形で使われることが非常に多いです。対義語は `ability`（能力）です。incapable（～する能力がない）という形容詞も関連語として重要です。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③「10 年間」です。decade は、連続する 10 年間を一つの単位として表す言葉です。the last decade（過去 10 年間）や for several decades（数十年間）のように使います。①「1 世紀」は a century、②「4 分の 1 世紀」は a quarter of a century、④「千年紀」は a millennium です。

◆補足：decade の語源は、ギリシャ語で「10」を意味する deka です。1980 年代（the 1980s）のように特定の年代を指す場合にも使われます。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①in advance です。この表現は、何かをする必要がある時点よりも「前もって、事前に」という意味で使われます。Please book your tickets in advance.（前もってチケットを予約してください）。②at once は「すぐに、ただちに」、③for a while は「しばらくの間」、④in the future は「将来に」という意味です。

◆補足：in advance は、動詞 *advance*（進む、前進させる）の名詞形 *advance*（前進）から来ています。「前にあること」から「事前」というニュアンスになります。thank you in advance（（これからしてもらくことに対して）よろしくお願いします、お礼を申し上げておきます）という言い方もメールなどでよく使われます。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②keep track of です。この表現は、人や物の現在位置、状況、進捗などを、注意を払って常に「把握し続ける、見失わないようにする」ことを意味します。It's hard to keep track of all my appointments. (全ての約束を把握しておくのは難しい)。①keep up with は「～に遅れずについていく」、③keep in touch with は「～と連絡を取り続ける」、④keep away from は「～に近づかない」という意味です。

◆補足：track は元々、動物などが残した「足跡、通った跡」を意味します。そこから、keep track of ～で「足跡を追い続ける」→「動向を把握する」という比喩的な意味に発展しました。対義語は lose track of ～（～を見失う、～がどうしているか分からなくなる）です。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①try out です。この句動詞は、新しい製品やアイデアなどを、本格的に採用する前に「試してみる、試験的に使ってみる」ことを意味します。I want to try out this new software. (私はこの新しいソフトウェアを試してみたい)。②try on は服や靴などを「試着する」、③try for は賞や地位などを得ようと「挑戦する」、④try to は「～しようと試みる」という一般的な表現です。

◆補足：try out の out には「最後まで」というニュアンスがあり、性能などを最後までしっかり試すという含意があります。名詞として a tryout (試用、オーディション) という形でも使われます。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「正確に」です。exactly は、形容詞 exact (正確な) の副詞形で、数量や事実などが「正確に、ちょうど、まさに」正しいことを示します。It's exactly 9 o'clock. (ちょうど9時です)。相手の言ったことに対して「その通り」と強く同意する返事としても使われます。①「ほとんど」は almost、②「おそらく」は probably、④「特に」は especially です。

◆補足：exactly は、not exactly の形で「必ずしも～というわけではない」という部分否定の表現でよく使われます。例：It's not exactly what I wanted, but it's close. (私が欲しかったものと全く同じというわけではないが、近い)。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①significantly です。この副詞は、何かが「著しく、大幅に、かなり」変化したり異なったりすることを示します。また、「重要なことに、意義深く」という意味でも使われます。Sales have increased significantly this year. (今年の売上は著しく増加した)。②sincerely は「誠実に、心から」、③similarly は「同様に」、④simply は「単に」という意味です。

◆補足：significantly は形容詞 significant (重要な、著しい) の副詞形です。sign (しるし) という単語が含まれていることから、「しるしとなるほど」→「注目に値するほど」というニュアンスが感じられます。considerably や substantially も「大幅に」という意味の類義語です。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「正確な」です。accurate は、情報、測定値、記述などが、事実に即して「正確な、間違いのない」ことを表す形容詞です。an accurate description (正確な記述) や accurate data (正確なデータ) のように使います。①「活動的な」は active、②「実際の」は actual、④「適切な」は adequate や appropriate です。

◆補足：accurate の名詞形は accuracy (正確さ、精度) です。類義語の exact は、寸分の狂いもない「厳密な」正しさを強調します。precise も「精密な」という意味で、細部まで詳細で明確であることを示します。accurate は、これらの単語よりも一般的に「間違いがない」という意味で広く使われます。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②including です。この前置詞は、例を挙げながら、それらが全体に含まれることを示すのに使われます。The price is \$100, including tax. (価格は税込みで 100 ドルです)。①concerning と③regarding はどちらも「～に関して」という意味です。④excluding は「～を除いて」という意味で、including の対義語です。

◆補足：including は動詞 include (～を含む) の現在分詞から派生した前置詞です。文法的には、including の後には名詞や動名詞が続きます。文頭、文中、文末のいずれにも置くことができ、非常に便利な単語です。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「関係、つながり」です。connection は、二つ以上の物事や人々の間の「関係、関連、つながり」を意味します。また、乗り物の「乗り継ぎ」や、電話やインターネットの「接続」を指すこともあります。There is a strong connection between smoking and cancer. (喫煙とがんの間には強いつながりがある)。①「訂正」は correction、②「収集」は collection、④「菓子」は confectionery や sweets です。

◆補足：connection の動詞形は connect (～をつなぐ、関連づける) です。in connection with ~で「～に関連して」という重要な前置詞句になります。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を支持する」です。support は、物理的に「～を支える」という意味の他に、計画、意見、人などに賛成し、援助や声援を送る「～を支持する、支援する」という意味で非常によく使われます。③「～を支える」も support の基本的な意味ですが、この文脈では物理的に支えるわけではないため、「支持する」が最も適切です。①「～を我慢する」は stand や tolerate、②「～を提案する」は propose や suggest です。

◆補足：support は名詞としても「支持、支援、支え」といった意味を持ちます。show support for ~ (～への支持を示す) や financial support (財政支援) などの形で使われます。supporter は「支持者、サポーター」を意味します。語源はラテン語の sub- (下に) と portare (運ぶ) で、「下から運ぶ」→「支える」というのが元の意味です。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③device です。この単語は、特定の仕事をするために作られた機械や道具、装置全般を指す非常に範囲の広い言葉です。a mobile device (携帯端末) のように使われます。①appliance は、冷蔵庫や洗濯機のような「家庭用電化製品」を指すことが多いです。②instrument は、精密な「器具、計器」や「楽器」を意味します。④gadget は、目新しい小型の電子機器など、面白くて便利な「小物」を指す口語的な表現です。

◆補足：device はラテン語で「分割する」を意味する dividere に由来し、もともとは「考案、工夫」といった意味でした。そこから「工夫されたもの」→「装置」という意味に発展しました。動詞形は devise (～を考案する) で、これも重要語です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「～する時までに（は）」です。by the time…は、…で示される時点を期限として、それまでに主節の動作が完了していることを示します。By the time he arrived, the party had already finished.

（彼が到着した時には、パーティーは既に終わってしまっていた）。②「～する時までずっと」は until、③「～すると同時に」は as soon as、④「～する間に」は while が適切です。

◆補足：by the time 節内の動詞が現在形の場合、主節は未来完了形（will have done）が使われることが多いです。例：By the time you get this letter, I will have left Japan.（あなたがこの手紙を受け取る頃には、私は日本を去っているでしょう）。by が「期限」を表すことを覚えておきましょう。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②scene です。この単語は、演劇や映画の「場面」という意味が基本ですが、そこから転じて、事件や事故が起こった「現場」という意味で非常によく使われます。The police arrived at the scene of the crime.（警察が犯行現場に到着した）。①scenery は、自然の「風景、景色」全体を指します。

③site は、建設「用地」や史跡などの特定の「場所」を指します。④sense は「感覚」です。

◆補足：scene には、人々の目に映る「光景」という意味もあります。a street scene（街の光景）。また、behind the scenes で「舞台裏で、水面下で」という重要な熟語になります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「競争」です。competition は、勝利、利益、優位性などを目指して、複数の個人や団体が競い合うこと、すなわち「競争、競技会」を意味します。例文は「スマートフォンメーカーの間には熾烈な競争がある」という意味です。①「協力」は cooperation で、対義語にあたります。②「会話」は conversation、③「完成」は completion です。

◆補足：competition の動詞形は compete（競争する）、競争相手は competitor、形容詞形は competitive（競争の、競争力のある）です。これらはすべて重要語なので、セットで覚えておくと語彙力が大きく向上します。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「産業」です。**industry** は、特定の種類の商品やサービスを生産・提供する経済活動の分野、すなわち「産業、～業界」を指します。**the car industry**（自動車産業）や**the tourism industry**（観光産業）のように使われます。①「勤勉」も **industry** の持つ意味ですが、この文脈には合いません。②「工場」は **factory**、④「会社」は **company** が適切な単語です。

◆補足：**industry** には「産業」の他に「勤勉」という意味があることも重要です。**His success is due to his industry.**（彼の成功は勤勉さのおかげだ）。形容詞形は **industrial**（産業の）と **industrious**（勤勉な）の二つがあり、意味が全く異なるため、区別して覚える必要があります。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④**participant** です。この単語は、動詞 **participate**（参加する）に、人を表す接尾辞 **-ant** がついた形で、会議、実験、イベントなどの「参加者」を指します。**All participants received a small gift.**

（参加者全員が小さな記念品を受け取った）。①**applicant** は「応募者、志願者」、②**assistant** は「助手」、③**consultant** は「コンサルタント」という意味です。

◆補足：**participate** は、**participate in ~** の形で「～に参加する」という使い方が基本です。これは **take part in ~** とほぼ同じ意味で、書き換えが可能です。**participant** と似た言葉に **attendee** がありますが、**attendee** は会議や講義などの「出席者」を指すのに対し、**participant** はより能動的に「参加」するニュアンスがあります。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④**handle** です。この動詞は、困難な状況や複雑な仕事、気難しい人などを、手際よく、うまく「処理する、対処する、扱う」ことを意味します。**She is good at handling difficult customers.**（彼女は難しい顧客を扱うのがうまい）。①**touch** は「～に触る」、②**manage** は「（組織などを）管理する」、③**control** は「～を制御する、支配する」という意味です。

◆補足：**handle** は名詞としてはドアなどの「取っ手」を意味します。そこから、手で何かを扱うように、物事を「手際よく扱う」という動詞の意味が生まれました。**deal with ~** も「～を処理する」という類義語ですが、**handle** の方がより積極的・能動的に問題を解決しようとするニュアンスがあります。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③false です。この形容詞は、情報や考えが真実ではない、「誤った、偽りの」状態を表します。a false statement（虚偽の陳述）のように使います。対義語は true（真実の）です。①formal は「正式な」、②former は「以前の」、④final は「最終の」という意味です。

◆補足：false は、a false alarm（誤報）や false teeth（入れ歯）のように、本物ではない「偽の」という意味でも使われます。名詞形は falsehood（うそ）です。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「目的、狙い」です。aim は、達成しようと努力する「目的、目標」や、銃や矢などの「狙い」を意味します。What is the main aim of this project?（このプロジェクトの主な目的は何ですか?）。②「腕」は arm、③「主張」は argument、④「援助」は aid です。

◆補足：aim は動詞としても使われ、aim at/for ~で「~を目指す、~を狙う」、aim to do で「~することを目指す」という形をとります。We are aiming to increase sales by 10%.（我々は売上を 10%伸ばすことを目指している）。goal や objective も「目標」という意味の類義語ですが、aim はより一般的な「狙い」というニュアンスで使われます。
